



# 東金ロータリークラブ会報

2010-2011 国際ロータリーのテーマ



地域を育み、大陸をつなぐ

2009~2010 年度

国際ロータリー会長 Ray Klinginsmith  
 第 2790 地区ガバナー 織田 吉郎  
 第 6 分区ガバナー補佐 小川 秀二  
 東金ロータリークラブ会長 小林 信雄  
 幹事 市東 弥寿雄  
 クラブ広報委員長 豊福 豊次

創立 1959 年(昭和 34 年) 9 月 15 日  
 R I 承認 1959 年(昭和 34 年) 10 月 17 日  
 例会日 火曜日 12:30~13:30  
 例会場 東金商工会館 4 階  
 Web サイト <http://www.togane-rc.jp/>  
 事務所 千葉県東金市東岩崎 1-5 東金商工会議所内  
 TEL 0475-52-1101(代) FAX 0475-55-5766  
 E-mail [info@togane-rc.jp](mailto:info@togane-rc.jp)

2010 年(平成 22 年) 8 月 24 日

第 52 卷 第 7 号 通巻第 2473 号

## 第 2473 回例会 8 月 24 日 12 時 30 分点鐘：例会場

今週の合唱 <それでこそロータリー、四つのテスト>

- ① 開会宣言と点鐘 ②お食事「江戸銀」 ③会長挨拶 ④幹事報告
- ⑤委員会報告 ⑥年間活動計画 ⑦卓話 東金税務署長 有馬恒夫様
- ⑧ニコニコ BOX 発表&出席報告 ⑨閉会宣言と点鐘

## 前回の記録 (8 月 17 日)

### ◆会長挨拶 小林 信雄会長

### 世界の飢餓を救うのはジャガイモ

インカが栄えたアンデスにはジャガイモの栽培種と野生種がある。インディオはジャガイモを 3800m の高地で栽培している。ペルーとボリビアの間の中央アンデスのチチカカ湖周辺に現在も原生種があるという。

ジャガイモは小麦、トウモロコシ、稻などの穀物に次いで栽培面積第 4 位、世界中で栽培されている。穀類が文明を生んだという説には疑問がある。ジャガイモこそ主食ではなかったか。

ジャガイモはナス科の植物、ソラヌム属です。ソラヌム属の植物は極めて多く 1500 種、そのうち 150 種がイモ類である。ほとんどが野生種で、栽培種は 7 種類。世界で栽培されているのは 1 種類だけで、残りはアンデス高地で栽培さ

れている。中央アンデス高地こそがジャガイモの故郷である。アンデス山脈は南アメリカ太平洋側 8000 キロに及び標高 6000m の高峰が並んでいる。インカの畑栽培の成功は、灌漑が施さ

れ、階段畑の石で土止めされているので標高の高いところでも耕作可能となる。

1570 年頃、スペイン人によってヨーロッパへ持ち込まれ、日本には慶長 3 年(1598)オランダ人がジャワ島(ジャガタラ経由)で長崎に持ち込んだようです。このジャガイモが、飢餓に苦しむ環境の悪い地域で栽培されれば多くの人が救われます。



### ◆幹事報告

### 市東 弥寿雄幹事

- ・ 8/21(土)20:30~やっさ祭り後の清掃奉仕
- ・ 8/24(火)14:00~インタークト／東天紅
- ・ 8/27(金)17:00~会長・幹事会／ホスト大原 RC
- ・ 8/28(土)13:30~米山委員長セミナー／エホール



## ◆地曳網実行委員会

- ・8/26(木)18:30～会場：八鶴亭、
- 10/2(土)九十九里浜にてJ I U留学生と一緒にロータリーファミリー親睦会について打合せ

## ◆ゲストスピーカー 長嶋光太郎様

東金市福俵在住。多古町に「山びこ学校」でお馴染みの無着成恭さんが福泉寺を建てました。そのとき一緒にカンボジアに山びこ学校を建てるお手伝いをしました。その後、先生の影響を受けて社会福祉法人の仕事についています。これから、皆さんのご協力をいただきたいと、ご挨拶にお伺いしました。

## ◆卓話 古川 秀夫会員

### 「トラック運送業界の景況感」

#### (1)概況

平成22年4～6月期におけるトラック運送業界の景況感は、「悪化」とした事業者は50%前回49%、「好転」とした事業者は11%前回13%で、判断指標は▲50となり、前回から4ポイント悪化した前回▲46。指標の悪化は小幅だが、4四半期続いた顕著な改善傾向はストップした。

貨物別では、宅配貨物、宅配以外の特積み貨物で指標の悪化が目立つ。

#### (2)特別積合せ貨物

宅配貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が47%、「増加」とする事業者が23%で、判断指標は▲38となり、前回▲31から7ポイント悪化した。営業収入は「減少」とする事業者が49%、増加とする事業者が20%で、判断指標は▲44となり、前回▲30から14ポイント悪化した。営業利益は「減少」とする事業者が49%、「増加」とする事業者が15%で、判断指標は▲48となり、前回▲36から12ポイント悪化した。

宅配以外の特積み貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が38%、「増加」とする事業者が23%で、判断指標は▲23となり、前回▲13から10ポイント悪化した。営業収入は「減少」とする事業者が39%、「増加」とする事業者が21%で、判断指標は▲25となり、前回▲20から5ポイント悪化した。営業利益は「減少」とする事業者が46%、「増加」とする事業者が13%で、

判断指標は▲42となり、前回▲22から20ポイント悪化した。

#### (3)一般貨物

一般貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が39%、「増加」とする事業者が22%で、判断指標は▲22となり、前回▲23とほぼ同水準であった。営業収入は「減少」とする事業者が45%、「増加」とする事業者が22%で、判断指標は▲31となり、前回▲29から2ポイント悪化した。営業利益は「減少」とする事業者が47%、「増加」とする事業者が15%で、判断指標は▲41となり、前回▲34から7ポイント悪化した。

#### (4)運賃水準

運賃水準は弱含んでいる。宅配貨物は▲32前回▲27、宅配以外の特積貨物は▲36前回▲16、一般貨物は▲28前回▲25となり、再び下落傾向が窺える。

#### (5)実働率等

実働率は▲23前回▲16、実車率は▲23前回▲14で、ともにやや水準を下げている。雇用状況は▲13前回▲11で、ほぼ人手の過不足はない状況となっている。採用状況は▲18前回▲18でほぼ前年並み、所定外労働時間は▲23前回▲15でやや減少傾向にある。

保有車両台数は▲23前回24、貨物の再委託(下請運送会社への委託割合)は▲29前回▲30で前回と同様にやや減少であった。

#### (6)地域別及び取扱品目別

業界の景況感を地域別にみると、九州は前回より大きく水準を下げて、地域別で最も厳しい。中部は水準を上げ、地域別で最も良い。

事業者の規模別では、小規模事業者は前回から水準を下げ、悪化となっている。大規模事業者は前回の水準をほぼ維持しており、相対的に景況感は良い。主な取扱品目別では、建設関連貨物の水準が低い。機械関連貨物は相対的に良い。

平成22年7～9月期の見通しについても、判断指標は▲54と今回よりも4ポイントの悪化が見込まれており、先行不安は拭われていない。

## ◆出席率

会員	出席者	出席率
25名	22名	88%
8月17日	コインBOX 1,900円	



欠席連絡は、前日までに事務局宛に、電話、FAX、Eメールにて、お願い致します。  
(緊急の場合は当日10時まで) メーキャップ先への事前連絡もお忘れなく  
電話 0475-52-1101 FAX 0475-55-5766 E-mail:info@togane-rc.jp



Togane Rotary Club